京都市立病院イメージキャラクター

研修医みぶきるの ワンポイント講座! Vol.8



ぽいふぁーましい?

「○○整形外科医院で□□のお薬をもらって、△△内科ケリニックで●●のお薬をもらって、、、」といつの間にか増えてしまうお薬。

効能が似た薬や、お薬同士の相互作用などにより、必要以上に身体へ負担がかかり、逆に害となる状態を「ポリファーマシー」と呼んでいます。

多くの種類の薬を飲み分けるのは難しいものです。 お薬手帳にすべての薬を記録してもらい、 かかりつけ医やよく行く薬局に問題がないか確認してもらいましょう。